

MEDUSA

MB&F + L'EPÉE 1839



THE SWISS-ITALIAN JELLYFISH

MEDUSA

息を呑むような時の表現

スイス最高級置時計ブランドL' Epee 1839との10度目の共同制作を機に、MB&Fは古代の美しいクラゲが繁殖する暖流の海原へと飛び込んだ。メデューサは手吹きガラスのムーブメントに覆われた2通りの設置が可能な置時計で、天井に取り付けることも、デスクに立てることもできる。うっとりするような神秘的な海洋生物の姿をまとったメデューサは、卓越した職人技術と精密なスイス時計を融合させ、どちらの分野でも未知の領域を切り開くこととなった。

メデューサの中心部はムラーノ手吹きガラスの透明な大型ドームでできており、成熟したクラゲの鐘のような形の体を彷彿とさせる。ドームから覗ける2つの回転リングはそれぞれ時と分を表示し、2つのリングの上を通る一本のインジケーターで時間を読み取ることができる。深海で光を放つクラゲのように、メデューサは暗闇でスーパーミノバの光に包まれる。時間表示部の下には振動数2.5Hz (18,000vph) のムーブメントが搭載され、機械の体をもつこのクラゲの心臓部となっている。

メデューサに搭載したムーブメントは完全に新型であり、L' Epee 1839は2年以上もの年月を開発に費やさねばならなかった。これまでの共同制作では巻き上げと時刻合わせを行う位置を別々に設けたが、メデューサではガラスドームが周りを覆っていることからムーブメントへのアクセスが限られているため、巻き上げと時刻合わせを兼ねるシステムが必要だった。さらに、置時計の視覚的なインパクトを最大限まで高めつつ、デザインのインスピレーション源を強調するため、ムーブメントは中心軸の周りに設計されており、放射状のシンメトリーを描くクラゲの神経系を見立てたものになっている。

メデューサのガラス外面（ブルー、グリーン、ピンクから選択可）を仕上げる作業には、ムーブメント制作のどの部分にも劣らない難しさがあった。特にピンクのモデルに関しては、狙った陰影を正確に表現するため、赤色ガラスと透明ガラスを重ね合わせる作業に数々の工程を要した。

可能な限り仕上がりを美しくするために、ドームと触手は同じガラスから製作する必要があった。こうすることで光学的な性質を統一できるからだ。各置時計に、均一な触手を1セットずつ手作業で製作するための技能は、ごく一部の吹きガラス工房しか持ち合わせていない。また、置時計

のムーブメントの重さに耐えつつ、軽量かつ繊細に見えるムラーノ手吹きガラスのドームを作り出す難しさもある。L' Epee 1839が連絡を取ったムラーノガラス工房40社のうち、1社しかこの作業を完遂できなかったことも理解に難くない。

2016年、個人デザイナーのファブリス・ゴネがMB&F創設者のマキシミアン・ブッサーにメデューサを提案したとき、ブッサーはその場でゴネのスケッチの魅力を見抜き、MB&Fのシリーズ作品を貫く基本精神を感じ取った。ブッサーは以下のように述べる。「ファブリスのことは数年前から知っていましたが、一緒に仕事をしたのは今回が初めてです。彼が紹介したがっていたデザインを見せてもらい、承諾しました。普段この種の依頼を承諾することはないのですが、今回は腕時計ではなく置時計のデザインだったことも決め手の一つです。デザインには非常にはっきりとしたビジョンがあったため、完成した置時計も最初のスケッチにとっても忠実なものになりました！」

メデューサは、ブルー、グリーン、ピンクの3モデル、各50点限定エディション。それぞれのカラーはクラゲの自然な色合いを反映させている。



息を呑むような時の表現

新たなムーブメント

2通りの設置方法

ガラスのボディ

メデューサという名前

メデューサ: 技術仕様

L' EPEE 1839 スイス第一級の時計製造所

MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください:

CHARRIS YADIGAROGLOU,

MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33



MEDUSA

新たなムーブメント

メデューサ制作に当たってL' Epéeは製図板に立ち返り、全くのゼロからムーブメントの設計を行った。外側を覆うガラスは重さがあり、衝撃に対して脆弱なため、片手で置時計を支えることができ、もう片方の手で巻き上げが行えるムーブメントを作る必要があった。またムーブメントの大部分がガラスで覆われているため、巻き上げと時刻合わせの機構を配置しても操作が制限されてしまう恐れがあった。

L' Epée 1839はそれまでの置時計のムーブメントにとらわれず、メデューサのムーブメントでは巻き上げと時刻合わせのシステムを統一することにした。ムーブメントの底から突き出したプロペラ部分は簡単にアクセスができ、反時計回りに回転させればムーブメントを巻き上げ、時計回りに回転させれば時間を調整することができる。天井に取り付けても、スタンドで立てても、メデューサの巻き上げと時刻合わせは簡単かつ直感的に行えるようになっているのだ。

メデューサのムーブメントは外側に強化用の支持機構を備えておらず、中央の柱と放射状のパーツを使って意図的にクラゲ体内の神経ネットワークを模した作りとなっている。この特徴はデザイン性に優れるだけでなく、エンジニアリングの観点から見ても、天井から吊るした時に置時計全体を保持することに繋がっている。



息を呑むような時の表現

新たなムーブメント

2通りの設置方法

ガラスのボディ

メデューサという名前

メデューサ: 技術仕様

L' EPEE 1839 スイス第一級の時計製造所

MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください:

CHARRIS YADIGAROGLOU,

MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33





MEDUSA

2通りの設置方法

メデューサはデスク上など平らな表面ならどこにでも設置できる。それを可能にするのが曲線的な脚部を持ったスチールの特製フレームだ。ムーブメントの底を乗せられる設計になっているだけでなく、巻き上げと時刻合わせの機構を操作しやすいようにも配慮されている。天井から吊るす場合には、メデューサにムラーノ手吹きガラスの触手を付けて装飾性をさらに高めることも可能である。ムーブメントに繋がれた触手は、時計が少しでも動けばゆったりと揺れ動くため、海流に乗って浮遊するクラゲを思い起こさせる。

息を呑むような時の表現

新たなムーブメント

2通りの設置方法

ガラスのボディー

メデューサという名前

メデューサ: 技術仕様

L' EPEE 1839 スイス第一級の時計製造所

MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください:

CHARRIS YADIGAROGLOU,

MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33



MEDUSA GREEN - SUSPENDED



MEDUSA BLUE - TABLETOP



息を呑むような時の表現

新たなムーブメント

2通りの設置方法

ガラスのボディ

メデューサという名前

メデューサ: 技術仕様

L' EPEE 1839 スイス第一級の時計製造所

MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください:

CHARRIS YADIGAROGLOU,

MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33

MEDUSA

ガラスのボディ

メデューサに命を吹き込む上で頭を抱えた難題の一つは、デザインを完璧に実現できる吹きガラス工房を見つけ出すことだった。MB&FとL' Epeeの対部分の共同制作に言えることだが、メデューサは当時の技術的な限界に合わせて設計された訳ではない。むしろデザインに合わせて技術を開発していったのである。

総重量2.34 kgの置時計に耐えうる吹きガラスのドームに、空気のように軽くて波打つクラゲのフォルムを表現しなければならなかった。ガラスドームの寸法と公差を算出する際、L' Epee 1839のチームは時計の重さを軽くしながらガラスの厚さをできる限り保ち、なおかつメデューサのデザインと時計としての機能を犠牲にしないという、気が滅入るような作業に対峙したのだった。前衛的な作品の例に漏れず、素材のそれぞれを通常の用途以上に追求した前例はない。試行錯誤を重ねた末に、L' Epeeのチームは求めていた結果を得ることができた。並外れた強度を備えながらも見かけは繊細な、外側のガラス製ボディが完成したのである。

ガラスのドームと触手で光学的な統一性を保つことは極めて重要だったため、予め型取りされたガラス棒を成形する従来の方法は利用できなかった。その代わり、触手の制作はドームと同じガラスの塊を使って行い、手作業でそれぞれ同じ形状と幅に設計していったが、この作業は豊かな経験と優れた技能を要するものだ。

メデューサのピンクモデルに相応しい影を作り出すことも一筋縄ではいかなかった。ピンクモデルにはブルーとグリーンモデルで利用した技術が適用できなかったからだ。エナメルと同じように、吹きガラスは金属酸化物で着色を行う。使用できる色調の範囲は、何世紀にも渡って受け継がれてきたガラス製造技術の有名な製法により決まっている。ピンクのガラスの場合は、まず赤色の熔融ガラスを透明な芯の上へ層状に重ねた後、息を吹き込み、引き延ばしながらガラスを成形して完成させる。

L' Epeeは定評のある吹きガラス工房40社にメデューサ制作の話を持ちかけたが、そもそも挑戦することに同意してくれた工房が4社しかなかった。成功したのはたったの1社だけだ。





MEDUSA

メデューサという名前

メデューサという名前から連想されるものは多岐に渡り、自然界で触手を漂わせる魅惑的なクラゲから、直視した者は誰もが石に変えられてしまうギリシャ神話のゴルゴンまで、人類のあらゆる経験に及んでいる。確かなことが一つある。メデューサの深淵を覗き込んだ者は、その虜になってしまうことだろう。

息を呑むような時の表現

新たなムーブメント

2通りの設置方法

ガラスのボディ

メデューサという名前

メデューサ: 技術仕様

L' EPEE 1839 スイス第一級の時計製造所

MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください:

CHARRIS YADIGAROGLOU,

MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33





MEDUSA

メデューサ: 技術仕様

メデューサはムラーノ手吹きガラスのドームと触手から成り、グリーン、ブルー、ピンクの3モデル、各50点限定エディションで展開。

表示 時と分

サイズ:

吊り下げた時: 286 mm (高さ) x 250 mm (直径)
直立させた時: 323 mm (高さ) x 250 mm (直径)
部品数: 231
重さ: 約6kg (吹きガラスのため厳密な重量は異なる)

ボディ / フレーム

ドーム / 触手: ムラーノ手吹きガラス
ムーブメントとスタンド: ステンレススティール、真鍮
スーパーミノバを塗布したインデックスとトッププレート

エンジン

L' Epeeによる自社設計・自社製造の空中ムーブメント
振動数: 2.5 Hz / 18,000 bph
パワーリザーブ: 7日間
ムーブメント構成部品: 155
石数: 23
インカブロック衝撃保護システム
ムーブメント仕上げ: コート・ド・ジュネーブ仕上げ、面取り、ポリッシュ仕上げ、サンドブラスト仕上げ、サーキュラーおよびパーティカルサテン仕上げ
時刻合わせとムーブメントの巻き上げの両方を行う統合型の巻き上げキー (ムーブメント底のプロペラ)

2通りの設置方法

天井取り付け: メデューサはムーブメント上部に位置する留め具で天井に取り付けることが可能。天井に取り付けた場合、ムーブメントにガラスの触手を掛けることができる。
直立: メデューサは金属製の専用土台を使ってテーブルに立たせることが可能。

息を呑むような時の表現

新たなムーブメント

2通りの設置方法

ガラスのボディ

メデューサという名前

メデューサ: 技術仕様

L' EPEE 1839 スイス第一級の時計製造所

MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら

までお問い合わせください:

CHARRIS YADIGAROGLOU,

MB&F SA,

RUE VERDAINE 11,

CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND

Eメール: CY@MBANDF.COM

電話: +41 22 508 10 33





息を呑むような時の表現

新たなムーブメント

2通りの設置方法

ガラスのボディ

メデューサという名前

メデューサ: 技術仕様

L'ÉPÉE 1839 スイス第一級の時計製造所

MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら
までお問い合わせください:
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

MEDUSA

L'ÉPÉE 1839 スイス第一級の時計製造所

L'Épéeは175年以上、置時計製造の最前線を歩んでいます。今日、高級置時計製造に特化したスイス唯一の専門メーカーとなっています。Auguste L'Épée (オーギュスト・レベ) がブザンソン近郊で1839年に創業したL'Épéeは当初、オルゴールと腕時計の構成部品製造に携わっていました。L'Épéeの顕著な特徴は、全ての部分が手作りであることです。

1850年以来、製造所は目覚まし時計、置時計、ミュージカルウォッチに特化したレギュレーターメーカーとなり、「プラットフォーム」エスケープメント生産においてリーダーシップを発揮しました。1877年までに、年間24000点のプラットフォームエスケープメントを製造していました。同製造所は、アンチノッキング、オートスタートそしてコンスタントフォースエスケープメントなど特殊なエスケープメントの特許を多数保有する著名な専門メーカーであり、また現在世に知られている複数の腕時計メーカーへのエスケープメントのサプライヤーでもあります。L'Épéeは、国際展示会において数々の金賞を獲得しています。

20世紀には、L'Épéeは最高級旅行用携帯時計でその評判を高めました。多くの人にとってL'Épéeは影響力と権力を持った人が所有する時計であり、フランス政府関係者から上流階級ゲストへの贈与品としても選定されました。1976年にコンコルドが超音速航空機として商業就航した際には、L'Épéeの柱時計が客室の装備時計として選定され、乗客への時間の視覚的フィードバックに使われていました。1994年には、L'Épéeはチャレンジ精神に突き動かされ、調整された振り子が付いた世界最大の時計 Giant Regulator (ジャイアント・レギュレーター)を構築しました。高さ2.2メートル、重さ1.2トン、機械式ムーブメントだけでも120キロの重さがあるこの時計製造には、2800人時の作業を要しました。

L'Épéeは現在、スイス、ジュラ山脈のドレモンに拠点を置いています。L'Épée1839は CEOのアルノー・ニコラス主導の下、洗練されたクラシックな旅行用時計、現代のデザインクロック (Le Duel)、およびアバンギャルドなミニマリスト時計 (La Tour) ラインナップを含む、最高級置時計のコレクションを展開しました。L'Épéeの時計は、レトログラード・セコンド、パワーリザーブインジケータ

ー、万年カレンダー、ツールビヨン、および打鈴機構を含むコンプリケーションを特徴としており、すべてが社内ですべてでデザイン・製造されています。超長時間のパワーリザーブは、最高水準の仕上げと共にブランドのシグネチャーとなっています。



STARFLEET MACHINE - MB&F + L'ÉPÉE 1839



ARACHNOPHOBIA - MB&F + L'ÉPÉE 1839



OCTOPOD - MB&F + L'ÉPÉE 1839



GRANT - MB&F + L'ÉPÉE 1839



- 息を呑むような時の表現
- 新たなムーブメント
- 2通りの設置方法
- ガラスのボディ
- メデューサという名前
- メデューサ: 技術仕様
- L' EPEE 1839 スイス第一級の時計製造所
- MB&F コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちら
までお問い合わせください:
CHARRIS YADIGAROGLOU,
MB&F SA,
RUE VERDAINE 11,
CH-1204 GENEVA, SWITZERLAND
Eメール: CY@MBANDF.COM
電話: +41 22 508 10 33

MEDUSA

MB&F コンセプトラボの誕生

2018年、世界初の時計製作専門コンセプトラボとして傑出した創造性を誇るMB&Fは、設立から13年目を迎えた。ブランドはこれまでに15種類の秀逸なキャリバーを開発し、それらをベースにして製作されたオロロジカルマシンとレガシー・マシンは高い評価を得てきた。そして現在も、創業者でありクリエイティブディレクターでもあるマキシミリアン・ブッサーのビジョンに基づき、従来の時計作りの殻を破ってキネティックアートを思わせる立体感豊かな作品を生み出し続けている。

マキシミリアン・ブッサーは高級腕時計ブランドで15年管理職を務めた後、2005年ハリー・ウィンストンのマネージングディレクターを辞任、MB&F (マキシミリアン・ブッサー&フレンズ) を創立。MB&Fは、ブッサーが尊敬し、働く喜びを分かち合うことのできる才能あるオロロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプト・ウォッチのデザインと小規模生産を行う芸術的なマイクロエンジニアリング・ラボなのである。

2007年、MB&Fは初のオロロジカルマシンHM1を世に送り出した。HM1の彫刻のような立体的なケースと美しく仕上げたエンジン (ムーブメント) は、同社の風変わりなオロロジカルマシンの基準となり、その後、時を告げるためというより、「時を語る」マシンが数多く生み出されていく。こうして製作されたオロロジカルマシンでは、宇宙 (HM2、HM3、HM6) や大空 (HM4、HM9)、道 (HM5、HMX、HM8)、水中世界 (HM7) を探索するマシンがイメージされている。

2011年には、MB&Fはラウンドケースのレガシー・マシン コレクションを発表。これらはMB&Fにとってよりクラシカルなもので、現代的な芸術品を創作するために往年の偉大な時計製造革新者とは異なる視点で複雑機構を解釈し、19世紀の腕時計製造の卓越性への敬意を払っている。LM1及びLM2に続いて発表されたLM101は、全て自社開発したムーブメントを搭載する初のMB&Fマシン。そして、コレクションの幅をさらに広げるレガシー・マシン・パーベチュアルとレガシー・マシン・スプリットエスケープメントの登場。MB&Fは現代的で型破りのオロロジカルマシンと、歴史からインスパイアしたレガシー・マシンを交互に発表している。

MB&Fの「F」が「フレンズ」(Friends) を表していることから分かるように、優れたアーティストや時計職人、デザイナー、様々な分野の製造業者をブランドにとっての「フレンド」と考え、協力関係を築くことはごく自然な成り行きだった。

そうした姿勢がブランドにもたらしたのが、パフォーマンスアートとコラボレーション作品という新たな2つのジャンルだった。パフォーマンスアート・モデルは、創造性豊かな社外のフレンドがMB&Fのマシンをベースにしてアレンジを加え、新たな形で表現した作品だ。一方、コラボレーション作品は、腕時計ではなく別のタイプのマシンで、MB&Fのアイデアとデザインに基づいて独創的なスイスのマニュファクチュールが設計、製造する。レペ1839と共同で製作されたクロックなど、コラボレーション作品の多くは時を告げるマシンだが、リュージュやカラダッシュとのコラボレーションでは別の種類のメカニカル・アートが創作された。

ブッサーは、こうして誕生したあらゆるマシンに、その魅力を発揮できる舞台を与えるため、従来型のブティックに陳列するのではなく、他のアーティストによる多彩なメカニカル・アートとともにアートギャラリーに展示することを思いついた。このアイデアにより、ジュネーブに最初のMB&F M.A.D.ギャラリーが設立され(「M.A.D.」はMechanical Art Devices: メカニカル・アート・デバイスの略)、その後台北、ドバイ、香港にもM.A.D.ギャラリーがオープンする。

MB&Fがこれまでに成し遂げた革新的な成果に対しては、いくつもの権威ある賞が与えられてきた。全てを網羅することはできないが、名高い「ジュネーブ時計グランプリ」においては4つもグランプリを獲得している。2016年にはレガシー・マシン・パーベチュアルが「ベストカレンダーウォッチ賞」を受賞。2012年にはレガシー・マシン No.1が「パブリック賞(時計ファンによる投票)」と「最優秀メンズウォッチ賞(プロの審査員による投票)」をダブル受賞。また2010年の同グランプリでは、HM4サンダーボルトで、「最優秀コンセプト&デザインウォッチ賞」を受賞。そして2015年には、HM6スペースパイレーツが、国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最優秀賞である「レッドドット: ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞した。

フォルダーコンテンツ

多言語のプレスリリースを表示したり、全商品画像(低解像度・高解像度)にアクセスするにはこちらをクリックしてください

THE MACHINE



MEDUSA BLUE SUSPENDED MEDUSA GREEN SUSPENDED MEDUSA PINK SUSPENDED MEDUSA ENGINE SUPER-LUMINOVA



MEDUSA GREEN IN SITU 01 MEDUSA PINK IN SITU 02



MEDUSA BLUE TABLETOP MEDUSA GREEN TABLETOP MEDUSA PINK TABLETOP

FRIENDS



MAXIMILIAN BÜSSER AND ARNAUD NICOLAS

THE FILM



FOLLOW US ON SOCIAL MEDIA @MBANDF